

## 所内学術講演、セミナー、研究懇話会、ワークショップリスト

### 所内学術講演およびセミナー

(2017年4月1日-2018年3月31日)

下記の口頭発表(日付順)が研究所内外の研究者によって放影研広島研究所で行われた。

**Noemi Castelletti**、ドイツ ヘルムホルツセンター・ミュンヘン 放射線防護研究所 放射線科学部、  
「喫煙と放射線による肺腺がんリスクの二つの異なる分子学的パスウェイ」4月4日

**徳永 勝士**、東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野教授、「個人情報保護法の改定に伴う医学  
研究倫理指針の変更と最近のゲノム医学研究」4月5日

**野田 亮**、京都大学大学院医学研究科分子腫瘍学領域教授、「がん抑制におけるRECK遺伝子の役割  
-非自律的な作用の発見」4月12日

**Alina V. Brenner**、米国国立がん研究所がん疫学・遺伝学部・放射線疫学部門研究員、「チェルノブ  
イリ事故による甲状腺がんとその他甲状腺疾患のコホート調査についての進捗状況」4月17日

**田邊 修**、東北大学東北メディカル・メガバンク機構ゲノム解析部門教授、「NRF2の酸化ストレス  
障害に対する防御作用、及び放射線遺伝毒性に対する防御作用の可能性」5月25日

**清川 裕朗**、ノースウェスタン大学医学部薬理学部門教授、「細胞周期とゲノム安定性の制御機構」  
7月12日

**Elisabeth Cardis**、バルセロナ環境疫学センター放射線研究部門教授、「放射線事故への備えと、そ  
の影響を受けた人々の健康調査に関する勧告・施策」8月24日

**神崎 訓枝**、岡山大学大学院保健学研究科、「医療情報の解析への情報数理学の応用:曖昧表現を用  
いた放射線健康影響の評価」9月25日

**吉田 稚明**、ダナ・ファーマー癌研究所腫瘍内科学部門リサーチ フェロー、「末梢性T細胞リンパ腫  
の分子学的特徴」10月4日

**野田 朝男**、放射線影響研究所分子生物学部副部長、「放射線による損傷と突然変異の検出に向け  
て-これまでの取り組み-」10月5日

**近藤 朱音**、独立行政法人 国立病院機構四国こどもおとなの医療センター産科病棟医長、「遺伝カウンセリングと遺伝診療専門職の教育 – 日英での経験から」10月12日

**Aparecido D. da Cruz**、ブラジル ゴイアス カトリック大学遺伝修士学プログラム細胞遺伝・分子遺伝学研究室コーディネーター、「放射線事故被曝者の遺伝影響追跡：ゴイアニア調査」11月2日

**Matthias Port**、連邦軍放射線生物学研究所（ドイツ）所長、「連邦軍放射線生物学研究所（ドイツ）：チェルノブイリ原発事故被害者の追跡調査から他の放射線関連事故後に発生した急性健康影響の早期・ハイスループット診断までの最近の調査活動について」11月13日

**Gertraud Maskarinec**、ハワイ大学がんセンターがん疫学プログラム教授（研究員）・正会員、「食事の質と慢性疾患のリスク：多民族コホート研究」12月14日

**Markus Eidemüller**、ドイツ ヘルムホルツセンター・ミュンヘン放射線防護研究所放射線科学部「放射線リスク」リサーチ グループ長、「LSSデータを使用した放射線-がん関連の評価と乳がん放射線治療後の晩発性健康リスクの推定」3月20日

## **放影研研究懇話会**

（2017年4月1日 – 2018年3月31日）

放影研研究懇話会（コロキウム）は、正式なセミナーではなく、主として現在進行中あるいは予備的研究について発表し、所内研究者からの建設的意見を得ることを目的とする。

**高橋 郁乃**、臨床研究部副主任研究員、演題「成人健康調査集団における動脈硬化調査の紹介」4月21日

**小笹 晃太郎**、疫学部長、演題「寿命調査の現在と今後の課題」5月19日

**John B. Cologne**、統計部主任研究員、演題「潜在因子のマーカーに基づく因果モデル：構造方程式を用いた解析を行った2件の成人健康調査」7月21日

**楠 洋一郎**、分子生物科学部長、演題「放射線被ばくによるT細胞老化の機序研究」9月15日

**Jaeyoung Kim**、疫学部来所研究員、演題「原爆被爆者寿命調査の尿路上皮がん罹患：1958-2009」11月17日

**坂田 律**、疫学部副部長、演題「寿命調査対象者のリンパ腫罹患」11月17日

橋爪 章、業務執行理事、演題「介入疫学～和歌山県における乳児死亡率改善事例～」12月15日

飛田 あゆみ、長崎臨床研究部部長代理、演題「長崎AHS対象者におけるHTLV-1関連疾患」1月19日

## ワークショップ

(2017年4月－2018年3月)

### 1. 放影研－国際放射線防護委員会（ICRP）合同会議：原爆被爆者に関する放影研の新たな臓器線量計算

開催日：2017年11月30日

開催場所：放影研 広島研究所 講堂

#### 招待講演者（講演順）：

Steve Egbert、Leidos 社（米国 Reston市）

「2次元輸送計算から得られた240角度求積の作成を含むエネルギー別および角度別フルエンスに関するDS86/DS02の計算」

Nolan Hertel、ジョージア工科大学（米国）

「DS86/DS02ファントムおよび臓器線量随伴計算－改良型ファントムに関する角度別およびエネルギー別応答関数一覧表を作成しDS02を効率的に改良する」

遠藤 章、日本原子力研究開発機構（JAEA）

「DS02フルエンスの等方照射による成人男性および女性ファントムを用いたForward計算：定型化ファントム、ICRPボクセルファントム、JAEA日本人ボクセルファントム」

Choonsik Lee、国立がん研究所（米国）

「ICRP小児ファントムシリーズによる理想化放射線照射幾何学の中性子線量変換係数」

Wes Bolch、フロリダ大学（米国）

「胎内被爆者集団のための新しい妊婦ファントムの開発」

#### 放影研の講演者：

Harry Cullings 統計部長

「DS02の新臓器線量モジュールにおいて実現可能な改良を評価するための新しい臓器線量計算に関する初期評価計画」

**その他の招待参加者：**

John Harrison、オックスフォード・ブルックス大学（英国）

Nina Petoussi-Henss、ヘルムホルツ研究所（ドイツ、ミュンヘン）

Derek Jokisch、Francis Marion 大学（米国）

Maria Zankl、ヘルムホルツ研究所（ドイツ、ミュンヘン）

佐藤 辰彦、日本原子力研究開発機構

佐藤 大樹、日本原子力研究開発機構

荻野 晴之、国際放射線防護委員会（カナダ）

Isaf Al-Nabulsi、米国エネルギー省

**2. 放影研-ICRP-保物学会合同ワークショップ**

**「疫学研究及び放射線防護における放射線推定の進展」**

開催日：2017年12月2日

開催場所：東京大学

国際放射線防護委員会（ICRP）、放射線影響研究所（放影研）、および日本保健物理学会（保物学会）による主催

日本放射線安全管理学会による共催

**招待講演者（講演順）：**

Wes Bolch、フロリダ大学（米国）

「最新ファントムとその応用」

John Harrison、オックスフォード・ブルックス大学（英国）

「線量計測定とリスク」

佐藤 大樹、日本原子力研究開発機構

「汚染土壌からの外部被曝により一般人が受ける線量」

古場 裕介、日本保健物理学会

「CT撮影による被曝線量に関する計算システム、WAZA-ARI」

真辺 健太郎、日本保健物理学会

「不溶性セシウムによる内部被曝線量のモデル化」

**放影研の講演者：**

Harry Cullings 統計部長

「最近のLSS調査に使用したDS02R1」

**招待参加者（順不同）：**

**吉田 浩子**、日本保健物理学会

**甲斐 倫明**、日本保健物理学会

### **3. 国際ワークショップ：疫学と生物学の融合**

**～生物学的知見を取り入れた放射線発がんモデリング**

開催日：22018年3月22日（木）、23日（金）

開催場所：放影研（広島）

**Session 1:** 放影研調査の紹介

**Session 2:** 発がん機序モデル I

**波江野 洋**、九州大学

**Christian Kaiser**、ヘルムホルツセンター（ドイツ、ミュンヘン）

**Session 3:** 発がん機序モデル II

**Georg Luebeck**、フレッドハッチンソンがんリサーチセンター（米国）

**Giorgios Stathopoulos**、ヘルムホルツセンター（ドイツ、ミュンヘン）

**Noemi Castelletti**、ヘルムホルツセンター（ドイツ、ミュンヘン）

**Session 4:** 生物学的モデル

**Cristian Tomasetti**、ジョンズ・ホプキンス大学 医学部（米国）

**中村 典**、放影研（広島）

**Richard Wakeford**、マンチェスター大学（英国）

**Session 5:** 生物学的モデル

**中村 典**、放影研（広島）

**Mary-Helen Barcellos-Hoff**、カリフォルニア大学 サンフランシスコ校（米国）

**飯塚大輔**、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

**島田義也**、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構